
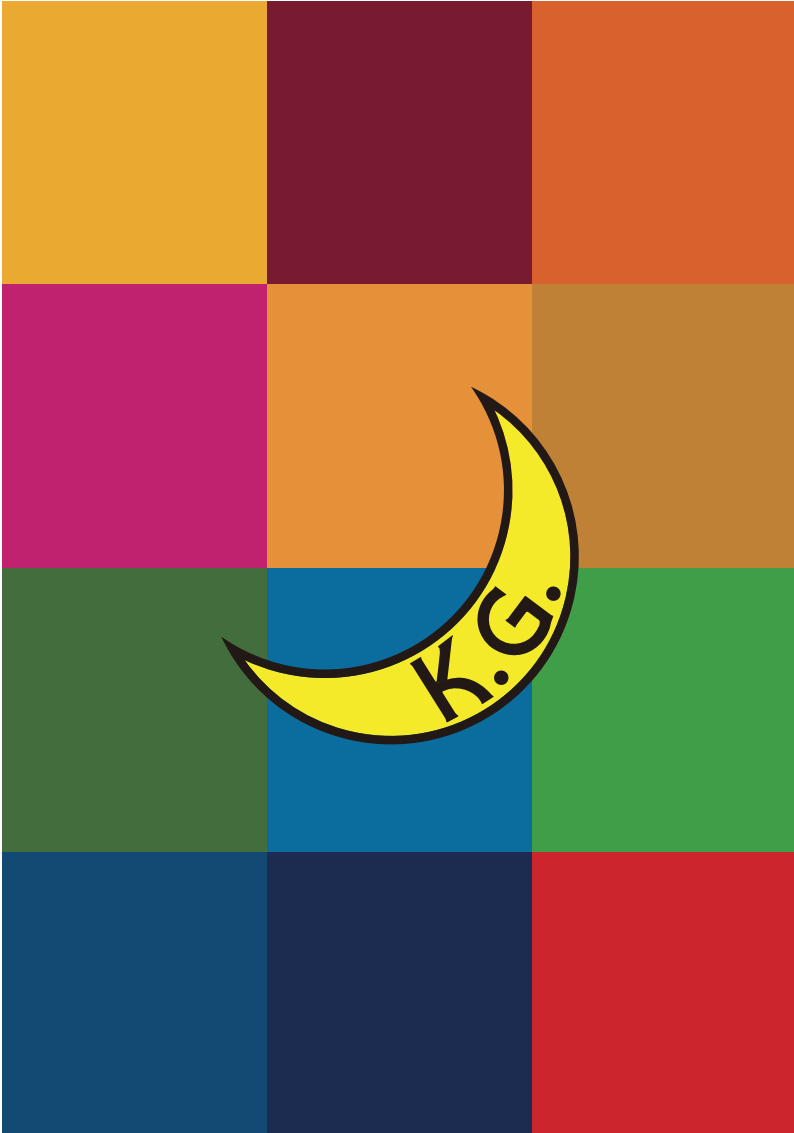




KG PEACE MAP

～関西学院の戦争史を知って
平和な未来へつなげよう～

 **関西学院高等部**
KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL
ハンズオンラーニング受講生一同



「関西学院の歴史」

1889年9月28日、W.R. ランバス(第1代院長)によって神戸・原田の森(現王子公園)に関西学院が創立されました。

5人の教師と19人の生徒を集めた小さな学院が明治、大正、昭和と規模を拡大させていきました。

1912年に第4代院長となるC.J.L ベーツが学院のモットー **"Mastery for Service"** を提唱し、

この精神が時代を越えて受け継がれ、今に至ります。 W.R. ランバス



1929年に現在の上ヶ原にキャンパスが移転されました。

1940年、ベーツが戦争の風潮を機に、祖国カナダへ帰国しましたが、退任直前までキリスト教の伝道とともに、日本の社会情勢を受け止めて御真影を院長室に設置するなどして、学院を護られました。

1941年の真珠湾攻撃によって学生の修業年限が短縮され、1943年頃から全学生の勉学も中断され、学徒出陣によって多数の学生が軍部に入隊しました。神学部を含め、関西学院の宗教教育活動は完全に消滅します。

1944年以降、上ヶ原キャンパスは西宮海軍航空隊の訓練場として使われ、学生は皆校地に設営された工場で働きますが、校地は何度も空襲に遭い、学生の被爆者の中で218人もの人が命を落としました。関西学院にはこのように本来学院が目指す教育が中断されてしまった悲惨な歴史もありますが、終戦後は改めて建学の精神に立ち返り **"Mastery for Service"** もスクール・モットーとして関西学院につながる全ての人々の指針となっています。

このマップを作った経緯

この KG PEACE MAP は、関西学院高等部2年生の必修選択科目であるハンズオンラーニングという授業において制作されたものです。ハンズオンラーニングとは SDGs の17の目標について学び考える授業で、その目標に含まれるキーワードの一つが、私たちの授業のテーマである「平和」です。私たちは「戦争」を通して「平和」について調べ、考えていくことになりました。その中で、私たちが通う関西学院、そして関西学院がある西宮市など、私たちにとても身近な場所も戦争に巻き込まれ、関わり、またそれらの爪痕があることを知りました。「平和」な社会を作り出すために関西学院に通う私たちにできることは何か。それは、私たちがこの授業を通して学んだことを皆さんに発信することだと考えるに至りました。関西学院と戦争の歴史を少しでも皆さんに知ってもらえるように。日本一美しいと言われる関西学院のキャンパスを気持ちよく歩いてもらいながら、ウォーキングマップとARを通じて楽しくそれらを知ってもらえるように。そのような思いで KG PEACE MAP を制作しました。楽しんでいただければ幸いです。

制作者紹介

ハンズオンラーニング受講生(高等部74期生)



籠谷 凧
久保田 優
佐藤 千晃
清板 祈平
田端 智実
橋本 渚沙
東谷 大輝
本橋 伽音
山田 梨央
山本 慈瑛
山本 友花

KG PEACE MAP ~関西学院の戦争史を知って平和な未来へつなげよう~

ARとは？

日本語で「拡張現実」といい、私たちがいる現実空間に写真や、動画をCGなどデジタル技術を使い、あたかも目の前にあるかのように表示する技術です。



15 関西学院構内古墳



16 ハミル館



5 中央芝生



4 神学部



3 時計台



14 ベーツ館



20 食堂



19 ポプラの木



7 旗忠碑



10 中学部



19 ポプラの木



9 G号館玄関前



11 高等部チャペル横



8 商学部



17 新月池



2 奉安庫



1 ランバス記念礼拝堂 / 校歌



20 食堂



19 ポプラの木



7 旗忠碑



10 中学部



19 ポプラの木



9 G号館玄関前



11 高等部チャペル横



8 商学部



17 新月池



2 奉安庫



1 ランバス記念礼拝堂 / 校歌

～平和希望の散策～

KG PEACE MAP

散策オススメルート➡

関西学院に残された知られざる戦時中の暗い過去を携える要所を中心に、約20ヶ所をスポットとして選定しました。そのスポットを訪れることによって歴史的事実を知り、より一層、平和への思いを寄せていただければ幸いです。主要スポットのみを周る**お気軽ショートコース**、それに加え、関西学院の上ヶ原キャンパス内でぜひ足を運んでいただきたいスポットを併せてめぐる**キャンパス満喫コース**の2つをご用意しました。さあ、このマップを片手に平和という視点でキャンパスを散策してみませんか。

お気軽ショートコース

関西学院の戦争歴史の跡を気軽に散策いただける約1.8kmのコースです。

所要時間 約1時間



キャンパス満喫コース

満喫コースのルートは約 2.5km でアップダウンの激しいルートとなっております。
戦争を越えて今に至るこの上ヶ原キャンパスのあらゆる名所を散策するコースです。
絶景スポットでの写真撮影もお忘れなく！

所要時間 約 1 時間 40 分



ほかにも

以下は⑭～⑳のARスポットです。
こちらARアプリで読み込むとそれぞれの説明が表示されます。



⑭ベーツ館



⑯ハミル館



⑱日本庭園



⑳食堂



⑮関西学院構内古墳



⑰新月池



⑲ポプラの木

※ ⑭ベーツ館・⑯ハミル館は外観からの散策になります。

写真映え
スポットにも
なります！

スマホを操作する際は
立ち止まるように
してください。



各スポットの説明

①～⑬のARスポットは戦争当時の歴史を持つもので、ここでは簡単な説明を載せています。ARアプリで読み込むことでより詳しい説明が表示されます。



①ランバス礼拝堂 / 校歌

関西学院創立70周年を記念して、スパニッシュ・ミッション・スタイルによる独立した礼拝堂として建設されました。教職員の就任式のほか毎週のキリスト教行事、コンサート、卒業生のための結婚式などに広く用いられています。この礼拝堂でも校歌がよく歌われますが、この校歌には悲しい歴史が…。



②奉安庫

奉安庫とは、天皇両陛下の御真影と教育勅語を保管していた金庫のことです。現在、御真影自体は紛失されていますが、奉安庫自体は旧院長室の壁にはめ込まれた昔の形のまま今でも残っています。大きさはちょうど御真影が収まるサイズで、扉は四重になっており、大切に保管されていたことがわかります。ここでは動画をどうぞ！



③時計台

1929年に建てられ、今では関西学院のシンボルとなっています。そんな時計台ですが1944年、戦時中にこの白い時計台が黒く塗られていました。理由は、アメリカ軍の爆撃の標的にならないためです。黒く塗り、空爆被害を防いだ事で今も残り続けているという歴史が実はあります。その黒塗りの時計台を紹介します。



④神学部

キリスト教主義である関西学院の象徴ともいべき神学部です。しかし戦時中の動きに伴い神学部も閉鎖された歴史があります。平和と愛を祈るキリスト教主義の学校でありながら、キャンパスを軍の訓練所に提供して戦争に関わらざるをえなかったのです。このARでは「平和とは何か」を一緒に考えましょう。



⑤中央芝生

中央芝生は式典や写真スポット、憩いの場として愛されています。しかし戦時中の1941年、学生会が解散し、その替わりの報国団の結団式や、運動部が鍛錬部へ改組し、その結成式が中央芝生で行われました。現在、旧院長室に飾られている写真にその集合写真があります。それらの写真をご覧ください。



⑥エンブレム

関西学院のエンブレムには、実は悲しい歴史があります。「Mastery for Service」という敵国語である英語が入っていたという理由のために、時計台に掲げられていた大きなエンブレムは、1942年に取り壊されました。このARスポットでは、当時のエンブレムの破片の写真や、学院史編纂室の方へのインタビュー動画をご覧いただけます。



⑦旗忠碑

1939年10月の学院創立50周年記念式典で定礎式が行われ、翌年2月に完成しました。碑文と日清戦争以降の学院関係戦死者168名の氏名が刻まれた石碑です。日中戦争で学院関係者にも犠牲者が出たことから学院、学生会、同窓会が慰霊碑の建立を計画し、教職員、在校生、同窓会の募金で作られました。当時の写真をどうぞ。



⑧商学部

商学部のルーツは1912年、第4代院長のベーツ先生の時代に創設された高等学部商科にあります。戦後、新制大学への移行に伴い、文部省やGHQが商学部という名称を認めなかったため、経済学部に取り込まれました。そして1951年に経済学部から独立して現在の商学部が誕生しました。



⑨G号館玄関前

関西学院は海軍予備学生の育成のため、校舎やグラウンドなどを1944年2月から貸与することになり、その時貸与されたグラウンド（現、G号館南側）の地下に司令室や秘密文書庫として利用された地下壕があります。この地下壕は当時のまま保存されていますが、安全上の問題から公開されていません。地下壕の詳細をまとめたのでご覧ください。



⑩中学部

中学部は学徙動員によって生徒が動員されたり、敷地に航空隊が使用する建物が設置されたりと戦争と深く関わりのある歴史があります。外国人が建てた学校ということもあり周りの住民から必ずしも快く思われなかったこともあったようですが、このARスポットは主に戦時下の中学部生の様子を紹介します。



⑪高等部チャペル横

この石碑は、1904年に開戦した日露戦争に参加した関西出身の従軍兵の氏名が刻まれた石碑です。現在は高等部礼拝堂の東側の通路に接する庭におかれています。普段は何気なく通り過ぎてしまいがちですが、一度立ち止まってじっくり見てみるとその歴史を感じます。当時を動画で振り返ってみましょう。



⑫上ヶ原八幡神社

上ヶ原八幡神社には海軍航空隊神風神社が遷座されています。神風神社は、元は隊内神社として関西学院の敷地内にありましたが、敗戦後焼却寸前に住民の手で遷座されました。当時使っていた錨や、戦闘機のプロペラがあります。のちに元西宮海軍航空隊の関係者によって作られた石碑「雄飛の碑」もあります。



⑬高等部グラウンド

1944年3月、三重航空隊西宮分遣隊の練習航空隊が発足し、1945年に西宮海軍航空隊として独立しました。関西学院の校舎が軍の兵舎などの施設として、グラウンドが訓練場として使われました。高等部グラウンド横から中学部グラウンドへ行く道に「平和よ永遠に」と書いた石碑もあるのでぜひ見てみてください。裏には「西宮海軍航空隊跡」と彫られています。

より一層散策をお楽しみいただくには！

- 1 スマホやタブレットで App Store または、GooglePlay ストアを開き「マチアルキ」と検索してください。
- 2 写真と同じアイコンの「マチアルキ - 自分でつくれる AR アプリ」をダウンロードしてください。



- 3 アプリ「マチアルキ」を開き、写真と同じ「QR コードをスキャン」をタップし、下の QR コードを読み取り KG PEACE MAP をダウンロードしてください。



- 4 アプリを開くと、下の中央にカメラマークがあります。そのカメラマークをタップします。位置情報を許可します。(ウォーキングマップをしている間は常に位置情報をオンに設定し、カメラを起動しておいてください。カメラを起動していなければ位置情報が更新されず、AR が正しく表示されません。)
- 5 マップのスポットへ行き、マップの写真と同じ角度から対象のものにカメラをかざしてください。



- 6 かざすと、関西学院の歴史や、その場所の戦争の説明や写真、動画などを見ることが出来ます。



- 7 スポットで写真や動画を再生するとスタンプがたまります。全部集めると、コンプリート画面が表示されます。



!!! キャンパスを散策できない人のために !!!

地図上の各①～⑳のスポットの名前(たとえば **①ランバス礼拝堂 / 校歌**)にカメラをかざしていただいても、AR アプリで詳しい説明や写真が同じように表示されます。